

【2025年度 国際交流委員会 事業計画・自己評価・事業報告】

○目的 「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。

○委員校
 (全：26校) 委員長校：兵庫県立大学、副委員長校：神戸市外国語大学
 委員校：明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算(千円)
課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 ・企画チームにおいて学生が主体的に学ぶことによる行動変容や、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、地域や企業へ高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。 ・日本人学生や地域の高校生等の海外機運醸成、留学促進等、グローバル人材の育成が期待される。 ・留学生が地域で活躍することや、外国人への防災教育等の実施を通して、多文化共生社会の地域における拠点となることが期待される。	1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数2500名以上/5年	参加者数 500名以上/年	9,625 (受託事業収入)
課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ・各加盟校の強みや特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がることが期待される。 ・加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。	2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数10件以上/5年	プログラム数 2件/年	50

【2025年度 国際交流委員会 (⑤取組1)】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)					
<p>【日本学生支援機構受託事業】 <兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業> (1)国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team G-Navi」の活動を実施 ・ファシリテーションやSNS等の研修 [各講座10～15名程]</p> <p>(2)高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 ①生活の支援 ア：防災教育の実施 [年1回以上、30名～100名] イ：大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 ウ：生活相談や医療相談機関の案内 ②外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア：地域連携プログラム「英語村」 [年3回以上、各20人～50人] イ：大学との連携による共同事業 [年1回4コマ程度実施、各20名～70名] ウ：兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨、 HIH寮祭(仮)などの実施 [各年1回、各20～100名] ③外国人留学生のキャリアサポート事業 日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを 学ぶ機会の提供 [5回以上開催、各30名～100名]</p> <p>(3)多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global Village(NGV)」の実施 [年8回以上開催、各20名～300名程度]</p> <p>(4)情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 [毎年6回以上開催]</p>			<p>【活動内容】 (1)国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team G-Navi」の活動を実施 計10回実施 64名 ・ファシリテーションやSNS等の研修 2/10実施予定</p> <p>(2)高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 ①生活の支援 ア：防災教育の実施 防災コミュニケーションカード 計4回実施 (6/7、7/6、9/6、9/20) 67名 イ：大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 計3回 ②外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア：地域連携プログラム「英語村」計2回実施 English Village International Festival (7/7) 47名 English Village in HIMEJI(8/21～8/22) 30名 イ：大学との連携による共同事業 1回実施 ミャンマー 震災から半年を振り返る (10/3) 72名 ウ：兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨、 International Festival HIH EXPO 2025などの実施 11月15日実施</p> <p>③外国人留学生のキャリアサポート事業 計5回実施 ひょうご留学生インターンシップ ガイダンス (6/3) 14名 ひょうご留学生インターンシップ 交流会 (6/7) 22名 Let's Go-Setsu!ガイダンス (6/25) 37名 Let's Go-Setsu!外国人留学生合同説明会 (6/25) 25名 ひょうご留学生インターンシップ 報告会 (9/20) 17名</p> <p>(3)多文化共生社会の実現を推進する事業 計5回実施 NGV88 Visiting SORAKUEN GARDEN (4/20) 31名 NGV89 Socie-tea 新歓イベント (5/24) 25名 NGV90 Socie-tea Let's make Cold Brew Green Tea (7/27) 16名 NGV91 CLUB GEORDIE フレコン&Exercises! (8/8) 33名 NGV96 国際協力・交流機関 職場体験リレー (9/6) 10名</p> <p>(4)情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 第1回国際交流委員会 (4/30) 19名 国際交流委員会と4者協定メンバーの交流会 (4/30) 21名 4者協定連絡会議 (5/13) 9名 インバウンドセミナー (8/7) 52名</p> <p>【自己評価】 「ミャンマー 震災から半年を振り返る」は、国際交流委員会からの発信をきっかけに、複数の加盟校で一つの企画を共催することができた。ミャンマー人留学生による「日本のみなさんに、母国の災害へ目を向けてほしい」という思いのこもったプレゼンテーションに多くの反響があった。また、従来は9月、10月に集中していた企画を分散すると同時に、11月15日のInternational Festival HIH EXPO 2025に集約できるものをまとめることで、事業の効率化と、大学や関係機関との連携充実を目指した。留学生による出展だけでなく運営側にも留学生の自主的な参加を促し、大学の枠を超えて、多くの課題を日本人学生と一緒に乗り越える経験を共有した。</p>			<p>【評価に対する実施結果】 (1)国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team G-Navi」の活動を実施 計16回実施 108名 ・ファシリテーションやSNS等の研修 (2/10、2/17) 41名</p> <p>(2)高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 ①生活の支援 ア：防災教育の実施 防災コミュニケーションカード 計7回実施 (6/7、7/6、9/6、9/20、11/15、1/30、2/15) 90名 イ：大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 計7回 ②外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア：地域連携プログラム「英語村」計3回実施 English Village International Festival (7/7) 47名 English Village in HIMEJI(8/21～8/22) 30名 English Village 2校合同研究発表会 (3/9) 78名 イ：大学との連携による共同事業 2回実施 ミャンマー 震災から半年を振り返る (10/3) 72名 甲南女子大学Global Citizenship Program (11/15、12/3) 53名 ウ：International Festival HIH EXPO2025 の実施 (11/15) 1138名 ③外国人留学生のキャリアサポート事業 計6回実施 Let's Go-Setsu!ガイダンス (6/25) 37名 Let's Go-Setsu!外国人留学生合同説明会 (6/25) 25名 ひょうご留学生インターンシップ ガイダンス(6/3)14名・交流会(6/7)22名・報告会(9/20)17名 企業と外国人留学生との企業研究会 (1/16) 52名</p> <p>(3)多文化共生社会の実現を推進する事業 計10回実施 NGV88 Visiting SORAKUEN GARDEN (4/20) 31名 NGV89 Socie-tea 新歓イベント (5/24) 25名 NGV90 Socie-tea Let's make Cold Brew Green Tea (7/27) 16名 NGV91 CLUB GEORDIE フレコン&Exercises! (8/8) 33名 NGV92 Socie-tea Let's make original blend tea (12/21) 14名 NGV93 CLUB GEORDIE 日本の心と遊び体験 (11/15) International Festival HIH EXPO2025に人数含む</p> <p>NGV94 国際協力入門セミナー (11/15) 62名 NGV95 甲南大学サッカー部×留学生 (11/22) 82名 NGV96 国際協力・交流機関 職場体験リレー (8/27) 10名 NGV97 国際協力業界で働くINひょうご (2/6) 66名</p> <p>(4)情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 第1回・第5回国際交流委員会 (4/30・3/27) 19名・18名 国際交流委員会と4者協定メンバーの交流会 (4/30) 21名 4者協定連絡会議 (5/13、2/19) 17名 インバウンドセミナー (8/7) 52名</p> <p>【報告】 従来からのプログラムの充実に加え、International Festival主催によりHIH・加盟校・地域の連携をさらに強</p>					
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数2500名以上/5年</p>			<p>①100% ②7,151名/4年 (2025.10.31現在)</p>			<p>①100% ②8,830名/4年</p>					
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】参加者数 500名以上/年</p>			<p>611名/年(2025.10.31現在)</p>			<p>2,290名/年</p>					
自己評価基準：対到達目標※			4			-					
自己評価基準：対継続性※			4			-					
事業収支	収入	9,625,000円	支出	4,944,427円	収支	4,680,573円	支出	9,625,000円	収支	0	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)											
<p>加盟校の学生からの複数の持ち込み企画を支援し、学生の自発性やアイデアの実現に注力したことや、International Festival HIH EXPOにおいて、留学生、学生と地域を繋げる場やゼミ活動を実践する場を創出したことは高く評価できる。また就職支援では当コンソ会員企業にも協力を仰ぎ、双方に刺激になる企画を実施したことも意義深い。今後もコンソの他プログラムや地元中高生、企業と連携しながら、国際交流を軸とした、学生の学びをアウトプットする機会の提供し、コンソの特徴を活かした地域の多文化共生を推進することを期待する。</p>											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2025年度 国際交流委員会 (⑤取組2)】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)					
<p>(1)学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 【ネパール 医療検査コース】 日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパール。文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。 ※単位互換プログラム該当 ※参加費用は為替レートによって変動する場合あり [実施期間] 2025年9月中旬 10日間 (予定) [参加費用] 25-30 万円程度 (22万円:2014年実績)</p> <p>【カナダ 看護コース】 今しかできない経験を。世界を知る、広がる可能性。 ※単位互換プログラム該当 ※参加費用は為替レートによって変動する場合あり [実施期間] 2025年8月9日(土)～8月20日(水) [参加費用] 35-45 万円程度 (航空運賃、宿泊費、研修費、食事代、現地での交通費等含む)</p> <p>(2)学生海外派遣プログラム 兵庫大学 【Experiential Language & Culture Learning Program in Hawaii】 ハワイパシフィック大学と連携して実施する、語学・異文化体験を中心とした短期研修。同大学より参加者全員に終了証 (Certificate of Completion) が発行される。 ※単位互換プログラム該当なし [実施時期] 2026年3月1日(日)～3月10日(火)</p> <p>(3)各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム</p> <p>○自学では得ることができない学びの経験とネットワーク構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることが期待されるプログラム</p> <p>○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム</p>			<p>【活動内容】 (1) 学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 ネパール 医療検査コース (実施せず) カナダ 看護コース (24名、うち1名神戸市看護大学) (8/9～8/20)</p> <p>(2) 学生海外派遣プログラム 兵庫大学 (延期決定)</p> <p>(3) 甲南女子大学Global Citizenship Program 11/15にInternational Festival HIH EXP02025に出展、また12/3にディスカッションプログラムを実施予定 神戸市外国語大学、神戸市看護大学、流通科学大学との連携プログラム ミャンマー 震災から半年を振り返る (10/3)</p> <p>【自己評価】 学生海外派遣プログラムについて、物価の影響等、学生が集まりにくい状況も考慮し、より学生にとって魅力的なプログラムを加盟校とともに作り出す必要がある。 一方で甲南女子大学のGCP履修生による、International Festival HIH EXP02025出展では、大学間の枠のみならず地域との関わりにも広がり、成果が期待できる。3大学の連携が叶ったミャンマー地震支援企画では多くの教職員の協力・参加があり、それぞれの加盟校の強みを活かし、共有できるプログラムとなった。</p>			<p>【評価に対する実施結果】 (1) 学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 ネパール 医療検査コース (実施せず) カナダ 看護コース (24名、うち1名神戸市看護大学) (8/9～8/20)</p> <p>(2) 学生海外派遣プログラム 兵庫大学 (延期決定)</p> <p>(3) 甲南女子大学Global Citizenship Program 11/15にInternational Festival HIH EXP02025に出展 12/3にディスカッションプログラムを実施 神戸市外国語大学、神戸市看護大学、流通科学大学との連携プログラム ミャンマー 震災から半年を振り返る (10/3)</p> <p>(4) SNS発信力UP講座 大手前大学・大手前短期大学、兵庫大学 (2/10、2/17)</p> <p>【報告】 International Festival HIH EXP02025に出展した甲南女子大学Global Citizenship Programは、一般の方や多くの子どもたち、留学生との交流を通して、自分たちが企画する次のイベントへの集客を行うなど自発的に留学生へのコンタクトを取ることができた。12月のディスカッションプログラムでは多くの留学生が参加し、交流を深めた。 SNS発信力UP講座は大手前大学・大手前短期大学にて、西宮市の後援も得て地域の方も多く参加して行われた。兵庫大学とも連携し同大学から講師を招いて開催した。</p>					
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定) ②プログラム数10件以上/5年</p>			<p>①100% ②14件/4年(2025.10.31現在)</p>			<p>①100% ②18件/4年</p>					
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】プログラム数 2件/年</p>			<p>2件/年(2025.10.31現在)</p>			<p>6件/年</p>					
自己評価基準：対到達目標※			4			-					
自己評価基準：対継続性※			3			-					
事業収支	収入	50,000円	支出	8,800円	収支	41,200円	支出	43,301円	収支	6,699円	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)											
<p>甲南女子大学GCPプログラムでは、当初の計画に加え、11月実施のInternational Festival HIH EXP0に出展するなど、新たな試みにより充実をはかったことは評価できる。また、ミャンマー震災関連のイベントでは当コンソの取りまとめで複数の加盟校が協力し、学生や一般に向けてそれぞれの持ち味を活かした企画を発信できたことは評価できる。今後も加盟校の国際交流プログラムに多様な人々が参加できるよう、創意工夫することを期待する。</p>											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2025年度 国際交流委員会 事業決算】

(単位：円)

	予算	決算	各取組 予算・決算						委員会 予算・決算			
			⑤取組1			⑤取組2						
			JASSO受託事業 兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業の実施			加盟校の国際交流プログラムとの連携促進			内訳	予算額	決算額	
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				
収入	会費収入	150,000	150,000					50,000	50,000		100,000	100,000
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	9,625,000	9,625,000		9,625,000	9,625,000						
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	9,775,000	9,775,000		9,625,000	9,625,000		50,000	50,000		100,000	100,000
支出	会議費	70,000	124,195	イベント弁当・飲料等	50,000	114,195				会議費	20,000	10,000
	旅費交通費	150,000	154,771	交通費	100,000	149,570	交通費	20,000	5,201	旅費交通費	30,000	
	通信運搬費	70,000	320,650	通信費・送料等	50,000	287,409				通信費・郵送費等	20,000	33,241
	消耗品費	60,000	559,652	事務用品	60,000	559,652						
	新聞図書費	10,000	0		10,000							
	印刷製本費	30,000	78,640				パンフレット・名刺	30,000	38,100	資料		40,540
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	40,000	353,233	PC・複合機等	40,000	353,233						
	保険料	0	990	イベント保険		990						
	謝金	1,201,000	661,835	謝金	1,181,000	661,835				謝金	20,000	
	租税公課	0	0									
	支払手数料	22,000	48,450	振込手数料	22,000	48,450						
	諸会費	0	0									
	委託費	852,000	258,820	HP保守・Instagram運用	852,000	258,820						
	人件費	7,260,000	7,190,846	人件費	7,260,000	7,190,846						
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
	雑費	10,000	0								10,000	
	計	9,775,000	9,752,082		9,625,000	9,625,000		50,000	43,301		100,000	83,781

収入－支出	22,918
-------	--------